

小児がん拠点病院・小児がん診療病院 情報公開新様式について

平成 30 年 1 月 12 日

1. 情報公開依頼と提出状況

平成 29 年 8 月 3 日に各ブロック代表者に依頼し、12 月 28 日までに 124 施設よりご提出いただいた。

各ブロックの提出状況は以下の通りである。

地域	ブロック 全施設数	うち提出済	うち未提出
北海道	6	5	1
東北	10	10	0
関東	38	35	3
東海北陸	24	22	2
近畿	32	20	12
中四国	18	18	0
九州・沖縄	19	14	5
合計	147	124	23

2. ホームページへの掲載について

各施設の情報は成育のホームページ内に一括して掲載されることとなったため、「成育トップページ」>「主な取り組み」>「小児がんセンター（小児がん拠点病院・中央機関）」に新規ページ「全国の小児がん施設の情報」を作成し、平成 29 年 12 月 1 日（金）に公開した。

「全国の小児がん診療施設の情報」ページ

全国の小児がん診療施設の情報

はじめに

この度、小児がん診療の質の向上や小児がん患者さんへの適切な医療の提供へつなげるため、各施設のご協力を得て小児がん診療施設についての情報を掲載することとなりました。

公開されている情報については下記の説明をよくお読みいただき、ご不明な点がございましたら下記までご連絡ください。

お問合せ先


国立成育医療研究センター小児がんセンター内 小児がん中央機関事務局

E-mail :

shounigankyoten@ncchd.go.jp

電話 : 03-3416-0181(代表) 内線7331、7542 (平日9:00~16:00)

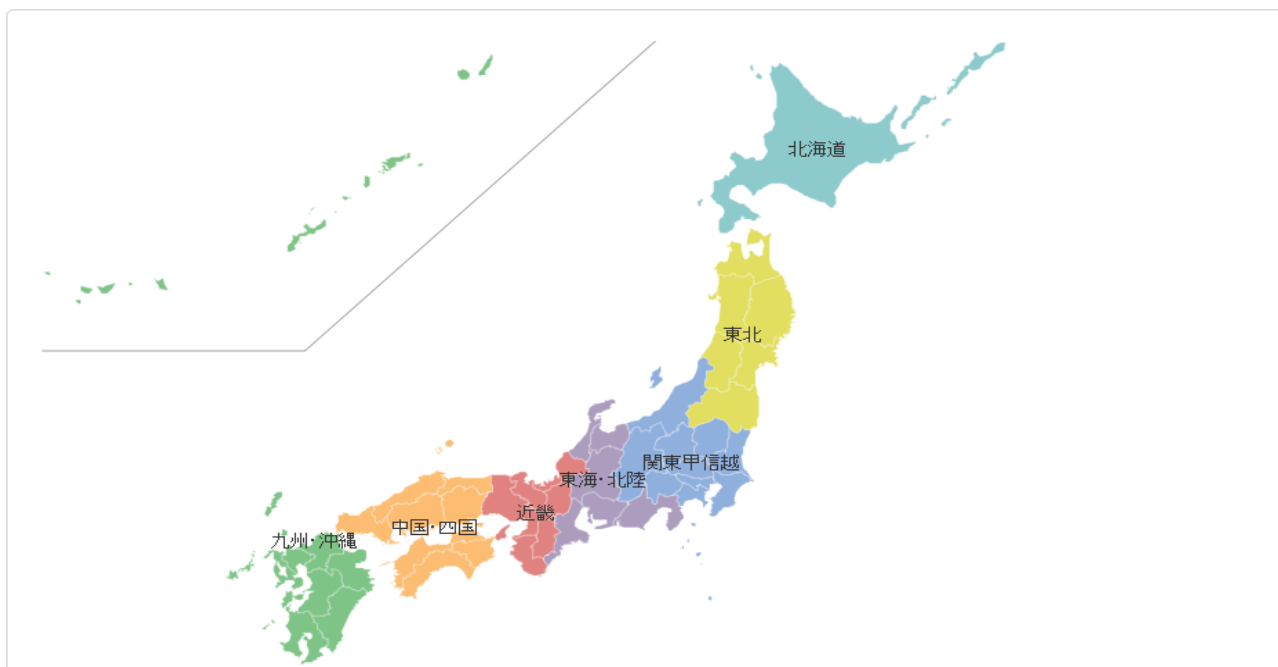
情報公開について

病院の基本情報は特に記載がない場合、2017年1月1日現在のものです。
各診療実績の説明につきましては、[こちら](#)  をご覧ください。

お探しの地域を地図上よりクリックしてください。選択した地域の一覧がご覧いただけます。
一覧の施設名をクリックすると、その施設の情報公開のPDFファイルが開きます。（全2ページです）
施設一覧の★マークは[小児がん拠点病院](#)に指定されている施設です。

スマートフォン等で地図が表示されない場合は、下記のリンクよりご覧ください。

▶ [北海道](#) ▶ [東北](#) ▶ [関東甲信越](#) ▶ [東海・北陸](#) ▶ [近畿](#) ▶ [中国・四国](#) ▶ [九州・沖縄](#)



「全国の小児がん診療施設の情報」のトップページを開くと、情報公開についての説明があり、その下にある日本地図のそれぞれの地域をクリックするとそのブロックの施設一覧が開き、施設一覧にある施設名をクリックするとその施設のPDFが開く。掲載するPDFは10未満の数字をマスキングしたものである（別紙資料参照）。

また、トップページと施設一覧の右下には説明用のPDF（別紙資料参照）へのリンクがあり、そこに各項目の具体的な説明を記載した。ホームページ公開後、各ブロック代表施設にホームページアドレスをご連絡し、各ブロック代表施設以外の小児がん診療病院への周知を依頼した。

3. 集計結果について

①初発・再発別件数について

初発については全疾患の総数 2014年 2440件、2015年 2711件、2016年 2608件 となった。

再発については全疾患の総数 2014年 305件、2015年 342件、2016年 359件 となった。

②疾患割合について

症例数・疾患割合を以下の表とグラフに示す。

※再発例は「その年自施設に初めて紹介された再発症例で、自施設で治療を行ったもの」をカウントしており、自施設再発などは含まれない。そのため、「再発で他施設に紹介されやすい疾患（ALLの骨髄移植目的など）」が件数として多くなっている可能性がある。

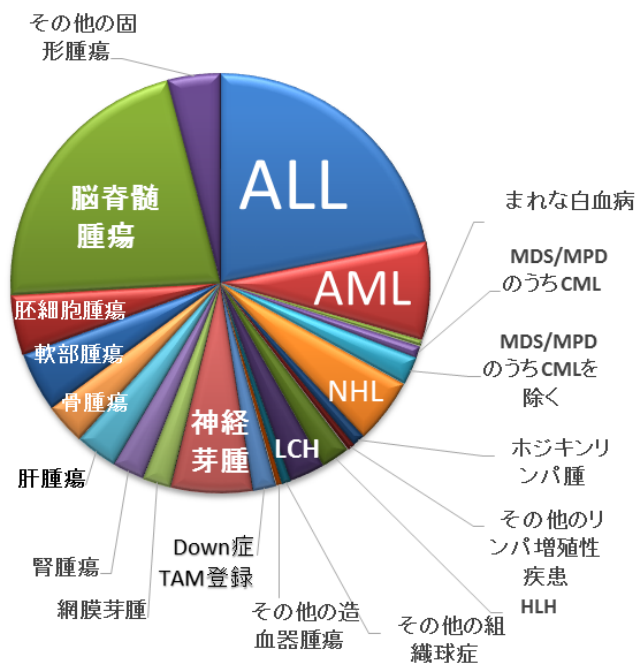
2014 年初発症例 件数と疾患割合

造血器腫瘍	1159	47.5%
ALL	533	21.8%
AML	184	7.5%
まれな白血病	11	0.5%
MDS/MPDのうちCML	23	0.9%
MDS/MPDのうちCMLを除く	53	2.2%
NHL	123	5.0%
ホジキンリンパ腫	25	1.0%
その他のリンパ増殖性疾患	14	0.6%
HLH	54	2.2%
LCH	67	2.7%
その他の組織球症	18	0.7%
その他の造血器腫瘍	10	0.4%
Down症TAM登録	44	1.8%
固形腫瘍	1281	52.5%
神経芽腫	154	6.3%
網膜芽腫	53	2.2%
腎腫瘍	61	2.5%
肝腫瘍	79	3.2%
骨腫瘍	78	3.2%
軟部腫瘍	112	4.6%
胚細胞腫瘍	112	4.6%
脳脊髄腫瘍	533	21.8%
その他の固形腫瘍	99	4.1%
総計	2440	100%

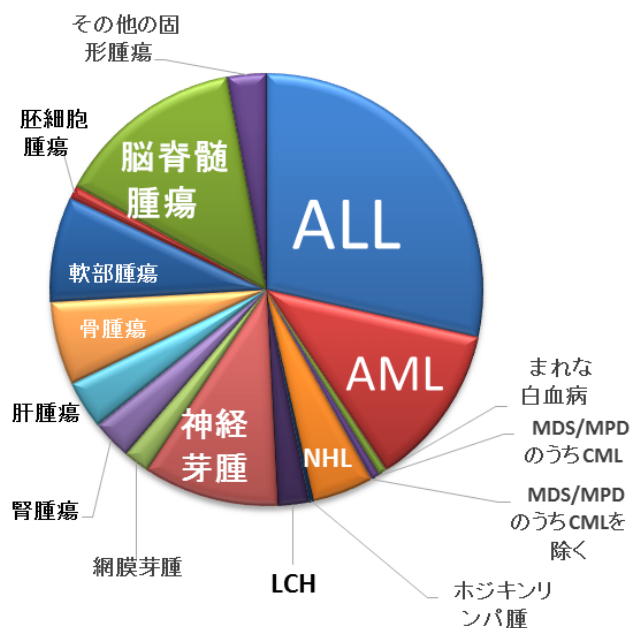
2014 年再発(紹介例のみ)症例 件数と疾患割合

造血器腫瘍	150	49.2%
ALL	87	28.5%
AML	37	12.1%
まれな白血病	2	0.7%
MDS/MPDのうちCML	2	0.7%
MDS/MPDのうちCMLを除く	0	0.0%
NHL	14	4.6%
ホジキンリンパ腫	1	0.3%
その他のリンパ増殖性疾患	0	0.0%
HLH	0	0.0%
LCH	7	2.3%
その他の組織球症	0	0.0%
その他の造血器腫瘍	0	0.0%
Down症TAM登録	0	0.0%
固形腫瘍	155	50.8%
神経芽腫	31	10.2%
網膜芽腫	6	2.0%
腎腫瘍	9	3.0%
肝腫瘍	11	3.6%
骨腫瘍	19	6.2%
軟部腫瘍	24	7.9%
胚細胞腫瘍	3	1.0%
脳脊髄腫瘍	43	14.1%
その他の固形腫瘍	9	3.0%
総計	305	100%

2014年 初発症例数



2014年 再発症例数



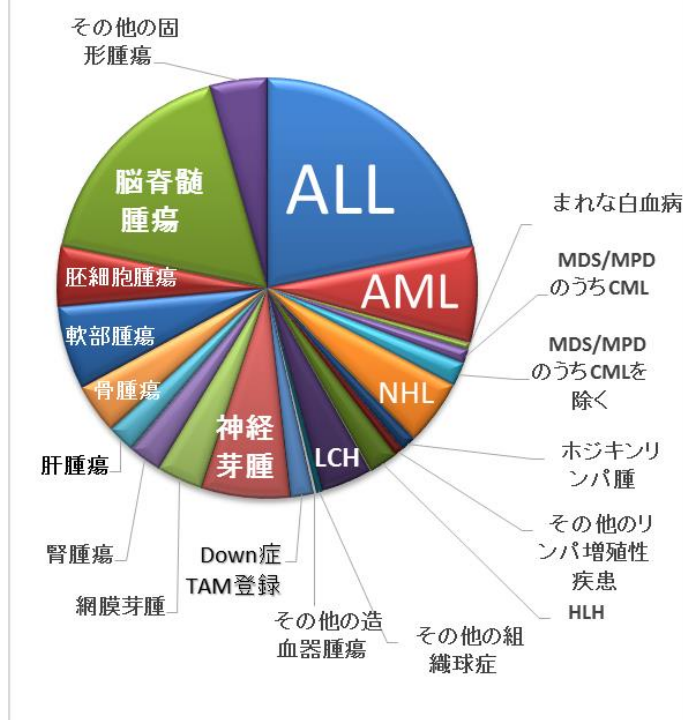
2015 年初発症例 件数と疾患割合

造血器腫瘍	1308	48.2%
ALL	592	21.8%
AML	199	7.3%
まれな白血病	14	0.5%
MDS/MPDのうちCML	30	1.1%
MDS/MPDのうちCMLを除く	50	1.8%
NHL	136	5.0%
ホジキンリンパ腫	32	1.2%
その他のリンパ増殖性疾患	20	0.7%
HLH	60	2.2%
LCH	107	3.9%
その他の組織球症	14	0.5%
その他の造血器腫瘍	6	0.2%
Down症TAM登録	48	1.8%
固形腫瘍	1403	51.8%
神経芽腫	185	6.8%
網膜芽腫	97	3.6%
腎腫瘍	68	2.5%
肝腫瘍	58	2.1%
骨腫瘍	106	3.9%
軟部腫瘍	174	6.4%
胚細胞腫瘍	125	4.6%
脳脊髄腫瘍	471	17.4%
その他の固形腫瘍	119	4.4%
総計	2711	100%

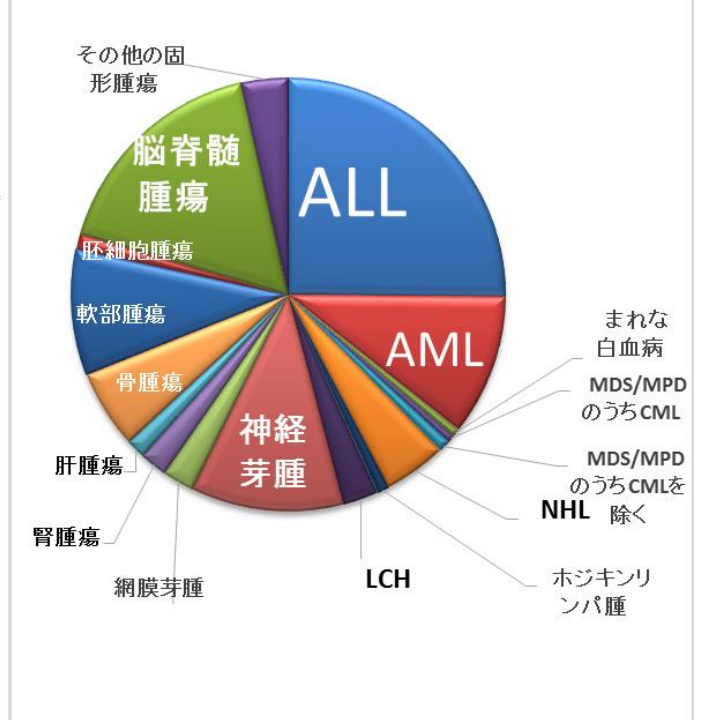
2015 年再発(紹介例のみ)症例 件数と疾患割合

造血器腫瘍	157	45.9%
ALL	86	25.1%
AML	36	10.5%
まれな白血病	2	0.6%
MDS/MPDのうちCML	2	0.6%
MDS/MPDのうちCMLを除く	3	0.9%
NHL	16	4.7%
ホジキンリンパ腫	3	0.9%
その他のリンパ増殖性疾患	0	0.0%
HLH	0	0.0%
LCH	9	2.6%
その他の組織球症	0	0.0%
その他の造血器腫瘍	0	0.0%
Down症TAM登録	0	0.0%
固形腫瘍	185	54.1%
神経芽腫	39	11.4%
網膜芽腫	8	2.3%
腎腫瘍	7	2.0%
肝腫瘍	5	1.5%
骨腫瘍	20	5.8%
軟部腫瘍	32	9.4%
胚細胞腫瘍	4	1.2%
脳脊髄腫瘍	58	17.0%
その他の固形腫瘍	12	3.5%
総計	342	100%

2015年 初発症例数



2015年 再発症例数



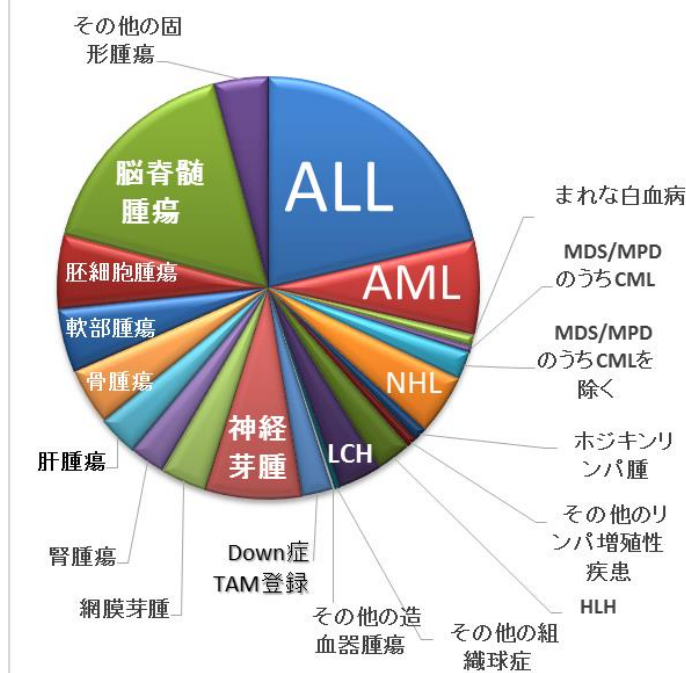
2016年初発症例 件数と疾患割合

造血器腫瘍	1237	47.4%
ALL	557	21.4%
AML	188	7.2%
まれな白血病	22	0.8%
MDS/MPDのうちCML	14	0.5%
MDS/MPDのうちCMLを除く	56	2.1%
NHL	120	4.6%
ホジキンリンパ腫	26	1.0%
その他のリンパ増殖性疾患	21	0.8%
HLH	69	2.6%
LCH	87	3.3%
その他の組織球症	12	0.5%
その他の造血器腫瘍	5	0.2%
Down症TAM登録	60	2.3%
固形腫瘍	1371	52.6%
神経芽腫	193	7.4%
網膜芽腫	92	3.5%
腎腫瘍	71	2.7%
肝腫瘍	81	3.1%
骨腫瘍	114	4.4%
軟部腫瘍	126	4.8%
胚細胞腫瘍	149	5.7%
脳脊髄腫瘍	436	16.7%
その他の固形腫瘍	109	4.2%
総計	2608	100%

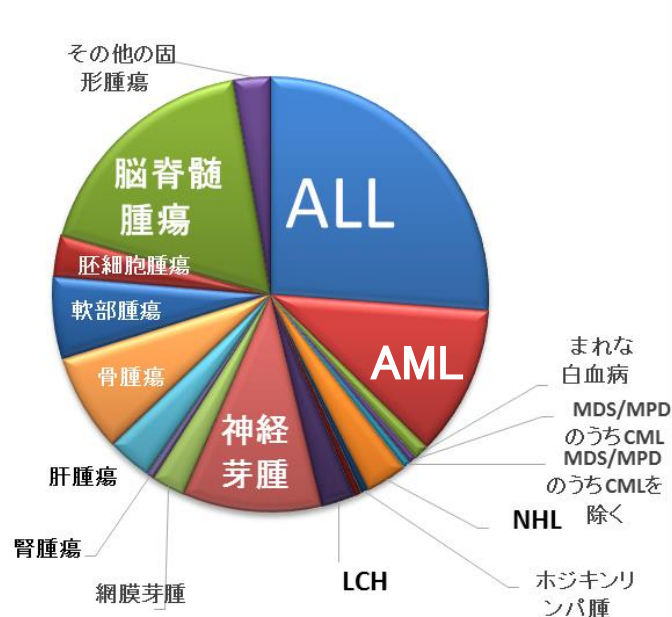
2016年再発(紹介例のみ)症例 件数と疾患割合

造血器腫瘍	166	46.2%
ALL	94	26.2%
AML	40	11.1%
まれな白血病	4	1.1%
MDS/MPDのうちCML	2	0.6%
MDS/MPDのうちCMLを除く	2	0.6%
NHL	11	3.1%
ホジキンリンパ腫	2	0.6%
その他のリンパ増殖性疾患	2	0.6%
HLH	0	0.0%
LCH	9	2.5%
その他の組織球症	0	0.0%
その他の造血器腫瘍	0	0.0%
Down症TAM登録	0	0.0%
固形腫瘍	193	53.8%
神経芽腫	37	10.3%
網膜芽腫	9	2.5%
腎腫瘍	2	0.6%
肝腫瘍	12	3.3%
骨腫瘍	26	7.2%
軟部腫瘍	22	6.1%
胚細胞腫瘍	11	3.1%
脳脊髄腫瘍	64	17.8%
その他の固形腫瘍	10	2.8%
総計	359	100%

2016年 初発症例数



2016年 再発症例数

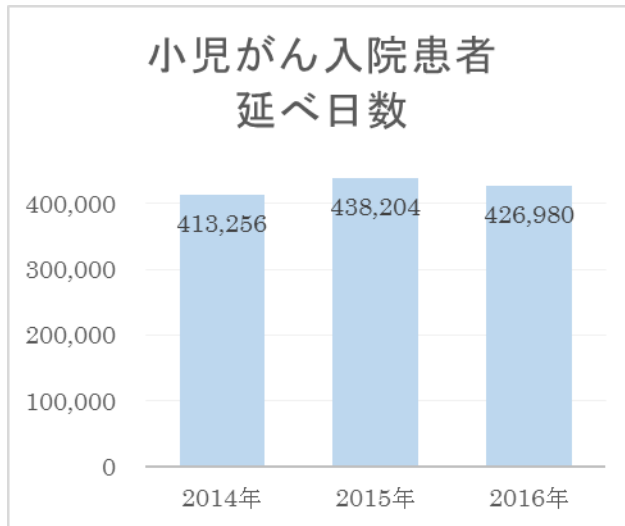
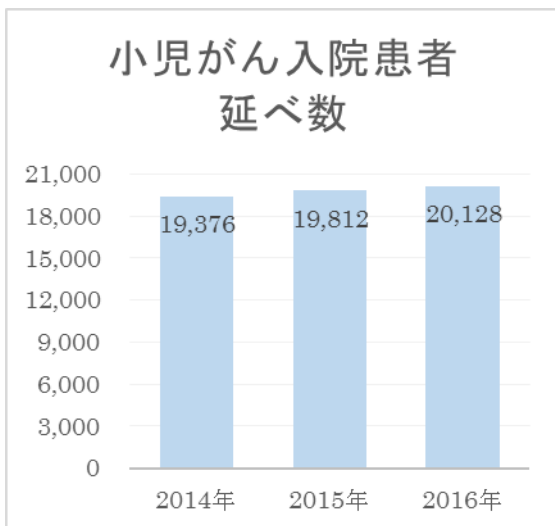


③小児がん患者入院延べ数と入院延べ日数について

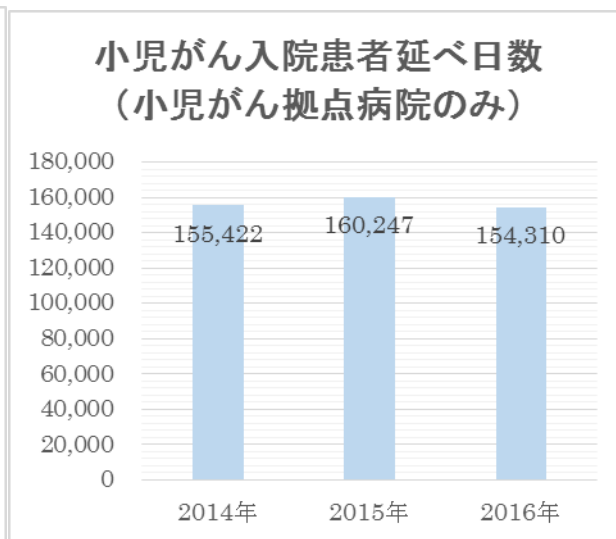
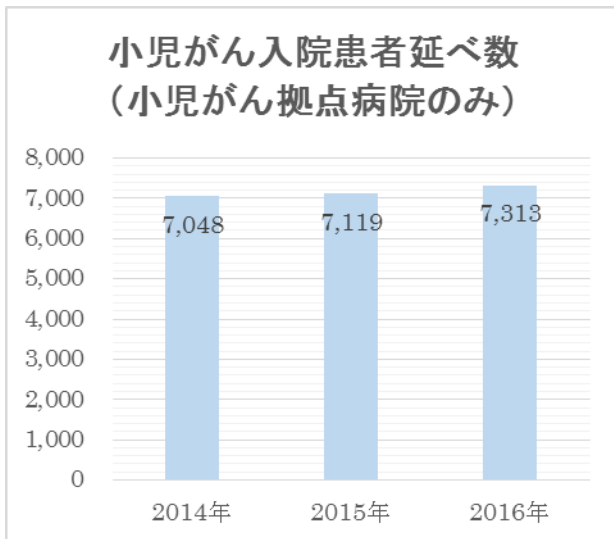
小児がん患者入院延べ数と入院延べ日数については、下に示す通りとなった。ただし、小児がん患者入院延べ数・入院延べ日数の記載のない施設が7施設、入院延べ数のみの施設が9施設、1年分あるいは2年分を記載している施設が3施設あったため、それらは計算から除外した。

入院患者延べ数が増え入院患者延べ日数が若干減っている背景には、可能性として ①軽症の症例の補足率が上がった、②入院が短期入院の傾向になった などが考えられた。

<全体>



<小児がん拠点病院のみ>



4. 今後の予定

国立がん研究センターのホームページに当院へのリンクを貼っていただければ、その作業を依頼することを考えている。患者さんにとって有益となる情報公開が他にもできないか、などを検討していく予定である。